

埼玉県議会議員 高木功介

新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行に備えて インフルエンザ流行前にワクチンを接種しましょう

9月定例県議会では、知事提出の11議案が上程されました。このうち、65歳以上の高齢者などのインフルエンザワクチンの予防接種にかかる費用を無償化する議案は、優先的に審議され、初日に本会議で可決しました。

インフルエンザワクチンの予防接種費用の無償化は、新型コロナウイルスとの同時流行に備えて重症化するリスクの高い65歳以上の高齢者や60歳以上65歳未満で、心臓や腎臓、または呼吸器機能に日常生活活動が極度に制限される程度の障害がある人などを対象に10月1日から県内医療機関でスタートしています。今回の補正予算案では、対象者の8割にあたる155万人の接種を想定して、自己負担分の補助費用(県負担金)、21億3900万円余りを可決しました。



埼玉県のマスコット「コバトン」

診療・検査機関の整備をしています

インフルエンザの流行期には、例年、県内で100万人を超える発熱患者が発生しており、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザを臨床的に鑑別することは困難であるため、これまで以上の体制強化が必要です。そこで、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの両方の診療・検査を行える「診療・検査医療機関」を県内1200か所開設を目指し、協力医療機関に助成を行う等、現在、整備を進めています。対象医療機関は12月ごろ公表されます。

冬は感染予防を念入りに!



冬はウイルスが繁殖しやすいため世界的に感染者が急増しています。3密(密閉・密集・密接)を避けて、感染防止対策をしていないお店には絶対に行かないで、「彩の国 安心宣言」を掲示している飲食店を選んで下さい。

空気清浄機が有効です

換気が難しい場所の対策は、HEPAフィルター付空気清浄機が有効です!(政府の感染症対策専門家会議メンバー・吉田正樹 東京慈恵会医科大学教授 談)。新型コロナウイルスの生存期間はステンレスで48時間、プラスチックで72時間と言われておりますので、HEPAフィルターで捕捉した状態で72時間以上静置することで死滅するものと考えられます。

お問い合わせはこちら

討議資料

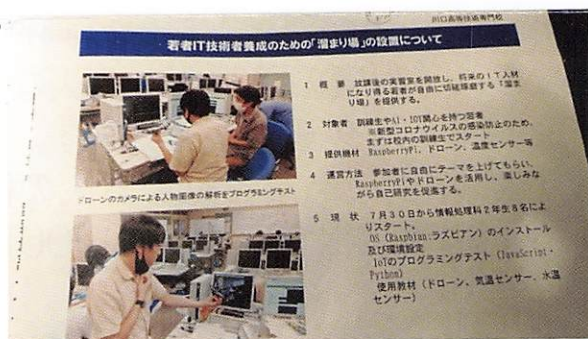
提言で実現した「若者IT技術者の『たまり場』」を視察してきました!

県立川口高等技術専門校を視察しました。この専門校には、私が昨年2月定例県議会の本会議に登壇し提言した「若者IT技術者養成のための『たまり場』」(自由闊達に自主研究できる場所)が7月から稼働しています。

「作ります!」との加藤産業労働部長の議会での即決は議場から喝采が上がった大変異例な答弁でした。現在は、コロナ禍もあり外部に開放はしていませんが、将来的にはこれを機に大きく拡大していきたいと切望している施設です。私は現在、慶應義塾大学大学院でわが国を代表する経営人達と切磋琢磨して埼玉県企業と経済産業発展のため経営管理を研究しておりますが、GAF(A(グーグル・アマゾン・フェイスブック・アップル)と呼ばれるようなデジタル企業が日本に育たなかったのは、IT技術者の育成が失敗しているからだと分析しています。



IT技術者の育成はわが国の今後の生命線であることを理解していない人が多く、危機感を抱いています。日本がIT技術者の宝庫になるように死力を尽くしてまいります。



「たまり場」の解説



「たまり場」の視察



埼玉県のマスコット「さいたまっち」

決算特別委員として決算を審議中です

10月20日から11月17日まで県議会決算委員会が開会されていて、私は決算特別委員として埼玉県決算1兆8,315億円を審議しています。病院局審査の一例を紹介します。私は現在、慶應義塾大学医学部の講義も履修し埼玉の医療向上を目的に研究しており、その成果である「医師による診療費のばらつきの研究」を用いて提言しました。医師によって診療方法が違い、それに伴い診療費もバラついてしまい、診療の標準化が図れないことを是正するために県立病院に「電子カルテのアウトカム(成果物のこと)を含めクリニカルパス(治療マニュアルのようなもの)を積極的に導入して診療の標準化を図ること」を改善すべき提言として議事録に載せ委員会報告としました。

県議会、本会議に登壇します

12月定例県議会本会議、12月8日火曜日10時から本会議登壇を予定しております。コロナ禍のため傍聴募集のご案内は差し上げませんが、質疑の内容及びテレビ放送のご案内など後日ご報告申し上げます。

埼玉県議会議員 高木功介 Profile

昭和51年2月、埼玉県出身、44歳。私立本郷高校、筑波大学国際総合学類卒業。筑波大学大学院人文社会科学科修了。博士(国際政治経済学)取得。現在、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程 EXECUTIVE MBAプログラム在籍。筑波大学研究員を経て外務省入省。国際法局、総合外交政策局に勤務。自民党埼玉県連の一般公募に合格。19670票を戴きトップ当選(埼玉県議1期目)。所属委員会 文教委員会、危機管理・大規模災害対策特別委員会
編著書 『日本外交の150年-幕末・維新から平成まで』(出版 日本外交協会)
趣味 テニス、サッカー(浦和レッズ)観戦、クラシック音楽鑑賞
座右の銘 「君子行くに徑に由らず」(論語「雍也」 拠り)
家族 妻(医師、埼玉県の病院に勤務)、母
身長 175センチ 体重 68キロ

Facebook Twitterで県政報告中



菅義偉総理大臣と
(内閣広報室提供)